

協議 — 秩序の基盤

マイケル・ヒギンズ

概要

守護者ショーギー・エフェンデンは、協議を『この唯一の秩序の基盤』と呼んでいる。我々は万国正義院の要請でバハイ流の協議を研究し習得している。更に、信仰行政会においては『順当な協議の有益な効果に信頼』をより多く置くように求められている。

この論文では、バハイの著作および他の資料を研究し、『順当な協議』が何によって成立するのかをより明白に理解することを趣旨としている。アブドウル・バハおよびショーギー・エフェンデンの著作には、実に明白な段階のプロセスが見られる。すなわち、七つの段階と二つの条件が満たされて初めて協議が開始されるのである。加えて、師は『精神会議』における決定には基本的な三段階の手順があることを示しておられる。更に、師は、協議を行う途中に自覚注意しておくべき四種の理解を述べられている。この四種の理解が足並みを揃えて協調すれば、『真の協議』は成り立つのである。